

議案審議

■第3回定例会（9月）に市長から提出された議案は、決算認定7件、条例に関する議案3件、補正予算案6件、その他の議案8件、あわせて24件を認定・可決・同意・答申しました。

■審査した陳情9件は不採択となりました。
主な議案の概要は次のとおりです。



市長提出議案

■コロナワクチンの助成や公共施設の修繕費を計上

令和6年度羽村市一般会計補正予算（第3号）

【主な内容】 歳入歳出それぞれ3350万円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ258億7630万3000円とするものです。

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 新型コロナウイルスワクチン接種の対象者への周知は。

A 医療機関でのポスターの掲示や市公式サイト・広報はむらを活用し、周知に努める。

Q ワクチン接種の際の自己負担金額は。

A 2500円である。

Q スポーツセンター屋上防水工事の内容と雨漏り対策の今後は。

A ウレタン防水工事である。この工事では約2年間対応し、令和8年度には国の補助金を活用し、本

格的な雨漏り対策工事を行う。

■被保険者証廃止に伴う改正

羽村市国民健康保険条例の一部を改正する条例

【主な内容】 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律により、国民健康保険法が改正されることに伴い、条例の一部を改正するものです。

【施行日】 令和6年12月2日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q マイナ保険証の利用率は。

A 被保険者の53・25%がマイナ保険証に登録している。マイナ保険証の医療機関での利用率は、令和6年6月診療分で10・41%である。

Q 健康保険証廃止の周知は広く、行っていくべきでは。

A 広報はむらのほか、テレビはむらや市公式サイト等で周知に努める。

Q マイナンバーカードを持っていない方には、紙の資格確認書を

職権で交付するが、どのような手続きが必要なのか。

A 有効期限である令和7年9月30日までに市から資格確認書を交付する。

討論

反対 利用率が低い中で今回の改正は実質的なマイナンバーカードの義務化にほかならず反対。

(市民ネットワーク)

賛成 正確なデータに基づく診断等が可能になる。法改正に伴う改正であり、妥当。

(新政会)

反対 紛失による外部利用の危険や資格確認書の負担などがある。一本化は認められない。

(世論)

市民の事務手続きの負担軽減を図る法改正に伴い条例を改正

羽村市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

【主な内容】 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条の改正

に伴い、同条を引用する条文の項ずれに対応するとともに、市民の事務手続等の負担軽減を図るため、個人番号(マイナンバー)の取扱事務を新たに加えることから、条例の一部を改正するものです。

【施行日】

(1) 第1条の規定

関係法令に掲げる規定の施行の日

(2) 第2条の規定

令和7年6月1日

【議決結果】

原案可決

質疑

Q 改正による利便性の向上とは、具体的に何か。

A マイナンバーカードの情報連携で、転入や更新等に必要となる一部の添付資料が提出不要となる。

Q 資料は何枚減るのか。

A 基本的には所得を確認させていただく書類の削減を想定している。

■ 儘田教育長の再任に同意

教育委員会教育長の任命について

教育委員会教育長の任期満了に伴い、儘田文雄氏を教育長に任命したので、議会の同意を求める。

【任期】 令和6年10月1日～令和9年9月30日

【議決結果】 原案同意

■ 教育委員の再任に同意

教育委員会委員の任命について(2件)

教育委員会委員の任期満了に伴い、塩田真紀子氏及び海東朝美氏を任命したので、議会の同意を求める。

【任期】 令和6年10月1日～令和10年9月30日

【議決結果】 原案同意

議案審議の流れ

※市長提出議案の場合の一例です

市長が議案を議会に提出します

本会議

議題として取り扱い 市長が提案説明をします

議員が質疑を行います

委員会

付託先の委員会で専門的な審査をします

※付託しない場合もあります

賛成・反対の討論を行います

採決を行います
過半数の意見が議会としての「議決」です

本会議後、議長は議決結果を市長に送付します。これを受け、市長は条例や予算に基づき、事業を実施します。

※内容は要約しています。詳細はインターネット録画中継(9月10日・9月27日分)でご覧いただけます。

■市長提出議案の議決結果

<第3回定例会(9月)で全会一致となった議案>

件名・概要	議決結果	件名・概要	議決結果
羽村市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例 →P11	原案可決	令和6年度羽村市一般会計補正予算(第2号) →歳入歳出それぞれ9億1,947万8千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ258億4,280万3千円とする。	原案可決
羽村市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例 →行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条の改正に伴い、同条を引用する条例の一部を改正する。		令和6年度羽村市一般会計補正予算(第3号) →P10	
損害賠償額の決定及び和解について →羽村市立羽村第二中学校の校庭で野球部が練習していたところ、ファウルボールが学校のネットを越え、相手方の住宅の窓ガラスに当たり破損させた事故に対する損害賠償額を決定し、和解する。		令和6年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第2号) →歳入歳出それぞれ2億1,366万6千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ60億2,632万5千円とする。	
損害賠償額の決定及び和解について →市が所有する崖線緑地内の除草作業を行っていたところ、使用していた刈払機の飛石により駐車していた車の窓ガラスを損傷させた事故に対する損害賠償額を決定し、和解する。		令和6年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算(第1号) →歳入歳出それぞれ2,743万8千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ16億3,403万8千円とする。	
損害賠償額の決定及び和解について →羽村市立羽村東小学校の移動教室の際、バスで移動中にDVDを鑑賞していたところ、担任教諭が児童から呼ばれたため立ち上がった時に、頭上にあったモニターに接触し破損させた事故に対する損害賠償額を決定し、和解する。		令和6年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第1号) →歳入歳出それぞれ7,368万7千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ44億1,748万7千円とする。	
公の施設を利用する権利に関する処分についての審査請求について →公の施設を利用する権利に関する処分についての審査請求があったため、議会に諮問した上で、裁決を行う。 【裁決の主文】本件審査請求を棄却する 【裁決の理由】指定管理者である運営委員会・組合は本件不承認の処分権限を有しているものと認められ、本件不承認の処分に違法又は不当な点は認められない。また、本件不承認は無効とはいえない。したがって、本件審査請求には理由がない。	異議ない旨答申	令和6年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計補正予算(第1号) →歳入歳出それぞれ9,828万1千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ20億6,028万1千円とする。	原案同意
		令和5年度羽村市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について →令和5年度羽村市水道事業会計未処分利益剰余金3億4,644万7,477円のうち1億9,204万3,786円を減債積立金に積み立て、1億5,440万3,691円を資本金に組み入れる。	
		教育委員会教育長の任命について →P11 教育委員会委員の任命について(2件) →P11	

<第3回定例会(9月)で賛否の分かれた議案>

件名	会派名(数字は人数)								議決結果
	新	公	共	ネ	都	令	世	双	
	(6)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
羽村市国民健康保険条例の一部を改正する条例 →P10	○	○	×	×	○	○	×	○	原案可決

凡例

■各会派の賛否■	議案／	○…賛成	×	…反対
	陳情／	○…採択	×	…不採択
■会 派 名■	新…新政会 公…公明党 共…日本共産党 ネ…市民ネットワ 都…羽村市議会都民ファーストの会 令…令和かがやき 世…世論 双…双葉会			
※議決結果の会派の人数には議長も含まれます。				

<令和5年度決算認定の議決結果>

件名		会派名（数字は人数）								本会議での 議決結果
		新	公	共	ネ	都	令	世	双	
		(6)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
一般会計歳入歳出決算		○	○	×	○	○	○	○	○	認定
特別会計	国民健康保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	後期高齢者医療会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	介護保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計歳入歳出決算	○	○	×	×	○	○	×	○	
	水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
	下水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	

■陳情の審議結果

件名	審査した 委員会	会派名（数字は人数）								本会議での 議決結果
		新	公	共	ネ	都	令	世	双	
		(6)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
羽村市の債務不履行宣言の撤回を求める陳情	総務委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
羽村市は「羽村市動物公園」の事業者であるか、の解明を求める陳情	環境まちづくり委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	
年1億円の動物園を市営から都営にすること等の検討を求める陳情		×	×	×	×	×	×	×	×	
羽村市の公金の取扱いにおいて、二重帳簿を止めることを求める陳情	総務委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	
羽村駅西口区画整理事業の認可取り下げ勧告を	環境まちづくり委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	
羽村市が設置者である「羽村市動物公園」の違法営業疑惑解明を求める陳情		×	×	×	×	×	×	×	×	
羽村市が事業者である「羽村市動物公園」を都営にすることを求める陳情		×	×	×	×	×	×	×	×	
民間建築物に係る石綿（アスベスト）等含有調査への助成制度を求める陳情書		×	×	○	○	×	×	○	×	
マイナ保険証と現行の健康保険証の両立を図るよう国への意見書提出を求める陳情書	文教厚生委員会	×	×	○	○	×	○	○	×	

会 派 名 簿

新 政 会

さくらざわ ひろ と いけ ざわ あつし
櫻沢 裕人 池澤 敦
の ぎき かず や あき やま よしのり
野崎 和也 秋山 義徳
たか だ かず と とみ まつ たかし
高田 和登 富松 崇

公 明 党

かね こ まさる
金子ひとみ
なか じま
中嶋 勝
とみ なが のり まさ
富永 訓正
いし い ひさ お
石居 尚郎

日本共産党

はま なか じゅん
浜中 順
すず き たく や
鈴木 拓也

市民ネットワーク

ちん ま ひで こ
門間 淑子

羽村市議会都民
ファーストの会

はま なか とし お
濱中 俊男

令和かがやき

はせ ひら こう ぞう
馳平 耕三

世 論

やま ぎき よう いち
山崎 陽一

双 葉 会

かん ゆう しん
菅 勇真

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

一般質問

一般質問とは、議員が市の施策の状況などについて質問することです。

第3回定例会では、

9月3日、4日、5日の3日間にわたり

16人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。

※答弁内容は、9月時点のものです。



《Q》 扶助費のうち児童福祉への支出額は

《A》 43億7341万円で割合は50.4%

櫻沢 裕人 議員（新政会）



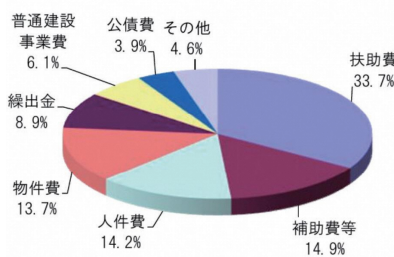
市の財政について

質問 健全化判断比率である実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率について、市の見解は。

市長 健全化判断比率から見る市の財政状況は、健全性を堅持している。

質問 安定した市税収入を得るためには、人口の維持が重要な要素の一つであると考えて、市の見解は。

市長 人口動態は市税収入に影響を及ぼす要因の一つであると認識している。安定的な財政運営を継続していくためにも、人口の維持、減少の抑制を図っていくことは重要である。



令和5年度決算における性質別歳出構成比(令和5年度事務報告書より引用)

質問 扶助費のうち、児童福祉への支出額は。

市長 扶助費のうち児童福祉に係る支出は、43億7341万円、割合は、50.4%である。

質問 出口や目標の見えない行財政改革は市民に閉塞感や圧迫感を覚えさせる。行財政改革の成果目標や成果を基にした新規事業の展開等、今後の展望を示しては。

市長 各年度の行財政改革の対象事業の一覧や進捗状況を市公式サイトに掲載し、主要事業は実施計画にも掲載して、市民に示している。社会経済情勢が変化する中、市民ニーズや行政需要は増大するとともに複雑化・多様化しており、今後も厳しい財政運営が続くと見込んでいる。引き続き、行財政改革に取り組み、成果や今後の展望を周知していく。

■その他の質問

東京2025デフリンピックを契機とした共生社会の発展について

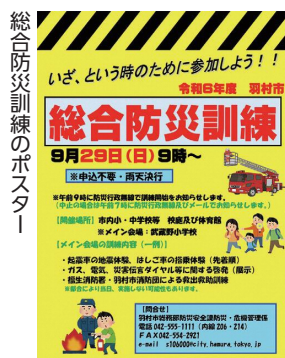


《Q》市総合防災訓練の日程の周知を早くすべき

《A》「広報はむら」9月1日号などで周知した



高田 和登 議員（新政会）



総合防災訓練のポスター

大災害時における自助・共助の重要性について

質問 多くの市民は羽村市総合防災訓練が9月上旬の実施と考えており、遅くとも広報はむら8月15日号で周知すべきだったのでは。

市長 広報はむら9月1日号などで具体的な内容を知らせた。

質問 国や東京都の防災訓練と時期をずらすことによる弊害は。

市長 実施時期がずれることによる弊害はない。

質問 熊本市では防災士養成講座を開催し、防災士の育成を推進し、地域防災リーダーとして登録している。同様の制度を検討しては。

市長 市が登録制度を設けるのではなく、自発的な防災ボランティアとして活躍していただくことを期待する。

質問 消防団員の報酬は責務の重さと比較して少額と感じる。市の見解を問う。

市長 適正な水準であると考ええる。また、令和5年4月に出勤報酬を新たに設けた。

質問 消防団本部などとの意見交換は。

市長 消防団と意見交換を行った。いただいた意見を踏まえ、女性消防団員が更に活躍できるよう検討する。

質問 学生消防団活動認証制度の周知を。

市長 市公式サイトや広報はむらで、企業への呼びかけや、制度のPRを行った。

質問 防災リーダー講習会が市公式サイトから検索できない理由は。

市長 町内会連合会が実施し、町内会・自治会会員が参加する講習会であるため。

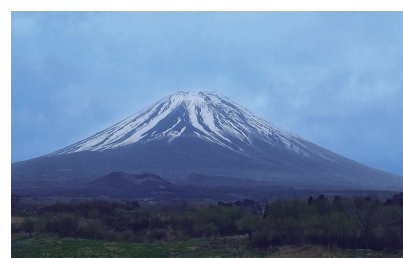


《Q》火山災害対策の作成スケジュールは

《A》「東京都地域防災計画・火山編」の修正後に実施



石居 尚郎 議員（公明党）



宝永の大噴火から約300年間噴火していない富士山

富士山噴火降灰対策を急げ

質問 羽村市地域防災計画の火山災害対策の作成スケジュールは。

市長 「東京都地域防災計画・火山編」の修正を踏まえ、計画の火山災害対策を修正する。

質問 富士山噴火時の市の降灰予測は。

市長 東京都の指針では、2 cmから10 cm程度以上の降灰の発生を予測している。

質問 電力等の影響は。

市長 降雨時に3 mm以上の降灰で停電の可能性はある。

質問 交通インフラへの影響は。

市長 道路は、乾燥時には10 cm以上で自動車は通行不能。

能。鉄道は微量の降灰で地上路線の運行が停止する。

質問 物資や人への影響は。

市長 道路交通の支障で配送困難となり、生活物資の入手が困難になる。

質問 火山灰処分の工程や民間との連携体制は。

市長 内閣府で年内に降灰対策のガイドラインがとりまとめられる予定。都や国の取組を参考に、より適切で迅速な対応が図れるよう、取り組んでいく。

水難事故から命を守ろう

質問 学校でのプール指導で、安全対策をどのように図っているのか。

教育長 小学校在籍中に、全ての児童が着衣泳を行っている。水難事故から児童・生徒を守るための指導の一層の充実を図るため、ライフセービング協会等の関係団体と連携し、事故を未然に防ぐ取組について検討していく。



《Q》スポーツセンターホールへ速やかに冷房の設置を

《A》大規模改修工事と併せて検討している



中嶋 勝 議員（公明党）



冷房設備設置と大規模改修を検討している羽村市スポーツセンター

スポーツセンターの冷房設備設置等について

近年の猛暑の中、冷房設備がなく、老朽化で雨漏り等の不具合箇所もある。修繕が必要と指摘した。

質問 雨漏りで使用禁止になると聞く。修繕の見込みは。

教育長 補助金を活用した大規模改修工事に向け、関係部署と調整している。

質問 冷房設備設置について利用者からの声は。

教育長 羽村市スポーツ協会から、毎年度設置を求める要望が出ている。

質問 速やかな設置へ向けた計画を。

教育長 大規模改修工事と併せて第1・第2ホールの

空調設備の新設を検討している。

質問 太陽光発電装置の導入も望むが。

教育長 大規模改修工事と併せて検討する。

質問 指定管理者制度は、施設整備の充実と合わせた導入が望ましいと考えるがどうか。

教育長 スポーツ推進審議会から施設改修後に導入すべきとの意見があることから、工事・空調設備の新設を実施できるように、取り組む。

孤独・孤立対策へ

地域の見守り体制再構築を

単身高齢者世帯等の増加や見守る側のなり手不足などの課題が生じている。地域の見守り体制を質問した。

質問 小地域ネットワーク活動の助成金の増額や地域人口割での支給を。

市長 行財政改革に取り組んでいる現状での増額は難しく、人口割も慎重な議論が必要である。



《Q》戦後80年の節目へ。平和への取組は

《A》市民が平和について考える機会を創出していく



金子 ひとみ 議員（公明党）



市独自の平和啓発事業「平和の企画展」

戦後80年の節目へ、次世代へつなぐ平和啓発を

質問 来年は戦後80年の節目を迎える。市として平和への取組をどう進めていくのか。

市長 令和5年4月に多摩地域26市の首長により「平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワーク会議」を設立した。市域を超えて連携し、平和関連事業に関する情報発信や相互交流事業を通じて取組を進めている。

加えて、市独自の平和啓発事業を充実させることで、市民が平和について考える機会を創出していく。

※ヒアリングフレイルについて

質問 自治体で広がるヒアリングフレイル事業をどのように認識しているか。

市長 高齢者の聴覚機能の衰えについては、早期に発見し、医療機関での診察・治療を受けることにより効果が期待できるものと認識している。

災害への

対応力強化について

市は災害に備え、防災・危機管理の知識や経験があり、気象の知識を有する専門人材を任用した。

質問 専門人材を任用したが、その専門性はどのような生かされたのか。

市長 「風水害・雪害時の活動態勢」については、防災安全課主幹の経験や知見に基づき、配備する職員の態勢を見直すなど、これまでより迅速な初動を取ることでできる態勢に修正した。

※ヒアリングフレイル：フレイル（身体の衰え）の一つ。聞き取る機能の衰え・耳の虚弱のこと。



《Q》電子図書館開設の考えはあるか

《A》費用対効果を見極め、導入について判断する



濱中 俊男 議員（羽村市議会都民ファーストの会）



プリモライブラリーはむらでのおはなし会

電子図書館開設に向けて

質問 電子図書館の意義は、

教育長 最も大きな意義は、

図書館に來なくても24時間365日借りられること。

そのほかのメリットに、貸出・返却・予約業務の自動化や小・中学校の朝読書の活用などが挙げられる。

質問 第四次羽村市子ども読書推進計画では、電子図書館の充実を掲げている。

電子図書館開設の考えは。

教育長 初期費用やランニングコスト等の調査研究を行っている。費用対効果を見極め、導入について判断する。

羽村駅西口土地区画整理

事業の推進に向けて

質問 駅前広場の早期整備

が望まれるが準備状況は。

市長 6か年の事業範囲の

移転協議を着実に進め、権利者のご理解・ご協力をいただき、移転・工事を行う必要がある。権利者に寄り添った説明と建物等補償調査を実施している。

学校給食費無償化について

質問 東京都で学校給食費

無償化を行っている自治体は。

市長 12団体であると把握している。

質問 学校給食費無償化を実施する考えは。

市長 8月29日に東京都に

対し、国による無償化の実現までは、多摩地域26市すべてが取り組めるよう、補助制度の拡充等を要望した。国に対しても、未来を担う子供たちが、住んでいる自治体により教育格差が生じることがないように働きかけていく。



《Q》タクシー補助制度や、はむらんの一部デマンド化を

《A》先進事例や運用状況などを、調査・研究する



富永 訓正 議員（公明党）

これからの地域公共交通の

在り方について

市内の公共交通の在り方を経済性、利便性、福祉的な観点から、改めて見直しを。

質問 福祉的視点からタクシー補助制度等の拡充や、はむらん、ふれあいキャリーの一部デマンド化の検討を。

市長 タクシー費用助成事業は一定の支援を行っている。デマンド型交通の在り方などは、他自治体の先進事例や運用状況などを、引き続き調査・研究する。

質問 ベンチや屋根のあるバス停に改善するために課題を整理し、実現を。

市長 設置可能な箇所について優先順位を付し、ベン



市内を走るコミュニティバス「はむらん」
（市公式サイトより）

ちや上屋^{うわや}の設置を検討する。

子育て家庭のサポートと

母子保健の充実を

質問 ※産後ドウラ^{どうら}の活用や資格取得者の支援を。

市長 有資格者からの協力があれば連携したい。現時点で費用助成は考えていないが、全ての妊婦・子育て家庭が安心して子供を産み育てられる支援に取り組む。

質問 母子健康手帳のデジタル化に向けた状況は。

市長 国は母子保健DXの取組方針を明らかにした。動向を注視する。

質問 低出生体重児に向けた状況を聞く。

市長 「NICU退院支援手帳」を希望者に配布。

子供の成長・発達や医療的ケア等の記録・健康管理等に役立っている。要件に当てはまる場合は、治療の医療費自己負担の一部を市が助成している。

※産後ドウラ^{どうら}：産前・産後の女性に寄り添い、より充実した家事や育児など様々なサポートをしてくれる専門家



※NICU^{にきう}：新生児集中治療室